

Five つの事実

Apple App Store はあなたの掌の上で、世界でもっとも素晴らしく革新的なアプリの数々を届けてくれるプラットフォーム。正直に言えば、Spotifyの社員は、皆Appleの大ファンです。私たちのどのオフィスにも、数千社員の手にも、Appleのハードウェアであふれています。また、私たちのサービスを世界中のSpotifyファンに届けることができるプラットフォーム上にいられることも楽しんでます。

01 Appleは差別的な税を課しています:

Appleは、アプリ内課金システム (IAP) を利用する対価として特定のアプリについて30%の利用料を支払うことを要求しています。

しかし現実には、このルールは全体に平等には適用されているわけではありません。Uberは支払っていますか? いいえ。Deliverooは? いいえ。Apple Musicは? いいえ。Appleは、UberやDeliverooと競合していません。しかし、音楽配信においては、Appleは自社サービスを優遇しているのです。

02 Apple は、あなたが好むであろうキャンペーン情報を Spotifyが送ることを許さない :

私たちが (iOS上の唯一の支払方法である) アプリ内課金を利用しないことを選択すると、Appleはその代わりに、Appleプラットフォーム経由でSpotifyを利用するユーザーとSpotifyとが直接コミュニケーションをとることをできなくしてしまったのです。

Apple は、例えば Spotify プレミアムを3カ月間 0.99 ユーロ (=約125 円) で利用できるといったお得なキャンペーン情報をユーザーに伝えさせてくれません。これは、単にアプリ内での話にとどまりません。さらにひどいのは、Spotifyアカウントを登録したユーザーに電子メールで情報を送ることを規則違反であるとしてブロックしてしまうことさえあるのです。

03 Apple は、あなたがSpotifyプレミアムに手軽にアップグレードすることを許さない

もしユーザーが私たちの無料プランからプレミアムプランにアップグレードしたいとしたら、私たちはもちろん大歓迎です!

しかし Apple は、私たちがアプリ内でそうした選択肢を提案することを禁じており、ユーザーは、複数のステップを踏んでブラウザやデスクトップに行くことを余儀なくされています。パソコンを持っていないユーザーさえいるのに、です。その上、私たちは、どこでどうすればアップグレードできるのか、といったことをユーザーに伝えることすらできないのです。ユーザーは、全てを自分で解決しなければならないのです。

しかし Apple は、Spotifyのような企業が、ユーザーに最高のサービスを提案するのをますます難しくしています。競合企業を不利にして、自分たちのサービスに都合よくなるように、競争の場を歪めているからです。

ここに、Apple がフェアに競争していないことを示す5つの事実を簡潔にお伝えします。

04 Apple は私たちのアプリのアップデートを拒否する

私たちは Spotify アプリを継続的に改善したり、新機能を追加するのが大好きです。

しかし Apple は、彼らが一方向的に課す数々の規制に私たちのアプリが従っていないとみなすときは、ユーザー体験やアプリ機能を向上させるであろうバグ修正やアプリ改善ですら定型的に拒否します。そうすることで、私たちのアプリやテクノロジーが劣っているとユーザーに信じ込ませています。それはあまりにも事実とかけ離れています。当然ですが、Apple は、自分たちの Apple Music アプリに対しては何の障害も設けていません。

05 Appleはあなたの持っているすべてのデバイスからSpotifyを利用することを許さない:

私たちににとって一番大切なのは、あなたがいつでもどこでも自由にSpotifyを楽しんでもらえるようにすることです。そして幸運なことに、Spotifyユーザーは、Apple製品を除いては世界中のほとんど全てのスピーカーでSpotifyを利用することができます。

数年間の利用制限を経て、AppleはついにSiriをSpotifyに接続して曲を再生できるようにしました...ただし、「Spotifyで『X』を再生したい」と言わない限り、AppleデバイスはデフォルトとしてApple Musicを起動します。今回のSiriとの接続は世界中のSpotifyユーザーにとって必要かつ重要な一歩ではありますが、真の平等はまだ達成されておらず、SpotifyはAppleによる意図的な排除によって引き続き不利な立場に置かれています。